



2023年9月22日

各 位

会 社 名 株式会社 千趣会
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 梶原 健司
(コード番号：8165、東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 コーポレート本部長 高橋 哲也
(TEL 06-6881-3220)

「スタンダード市場」への選択申請に関するお知らせ

当社は、2023年4月1日施行の東京証券取引所の規則改正に基づき、スタンダード市場への選択申請をすることについて、本日2023年9月22日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. スタンダード市場の選択理由

当社は2021年11月26日の「新市場区分における「プライム市場」選択申請に関するお知らせ」のとおり、株式会社東京証券取引所（以下、東証）の新市場区分への移行にあたり、2022年4月4日よりプライム市場に上場してまいりました。その後も、各基準日においてプライム市場の上場維持基準に全て適合していることを確認しております。

一方で、2023年4月1日に東証の規則改正が施行されたことに伴い、当社は改めてどちらの市場を選択することが株主の皆様をはじめとするステークホルダーの期待に応える選択であるか、また、当社の持続的な成長と企業価値の向上に最適であるかについて社内で議論を重ねてまいりました。その結果、下記の理由からスタンダード市場を選択することといたしました。

- ・ 2023年6月23日付の「通期業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」のとおり、2023年度の業績予想は親会社株主に帰属する当期純利益が42億円の損失の見込みとなり、当社グループの中核事業である通信販売事業の収益不振が継続しております。こうした状況を踏まえ、当社が最も優先すべきは、通信販売事業の構造改革による収益性の改善や業績の安定化に向けた取組であると考えております。早期にスタンダード市場を選択することで市場に対応するための時間や労力を抑制し、限られた経営資源を構造改革や新たな価値を創造する事業により集中させることが、中長期的な成長と株主価値向上に資すると判断いたしました。

- ・ プライム市場の維持基準は、これまでの基準日において全て充足しているものの、株式の売買代金等については当社の取組だけでは実現できない要素も含まれており、今後も十分な余裕を持って安定的・継続的に充足できるとは必ずしも言えない状況にあります。そのため、将来的に上場維持基準を充足できず、株主の皆様の株式売買の機会が失われてしまうといった不測の事態を招かないようにすることが重要と判断いたしました。

2. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けた今後の取組について

コーポレート・ガバナンス体制の強化やサステナビリティへの取組を推進し、持続的な成長と企業価値の向上に取組むという基本方針は、変わるものではありません。中期経営計画で掲げている通信販売事業の構造改革を行い、早期の黒字転換を実現するとともに、更なる収益拡大のため、より一層の商品力・販売力の強化と、事業パートナーとの協業ビジネスや連携強化を図ってまいります。これにより、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現してまいります。

3. スタンダード市場への移行手続き

今後は、東証の定めるスケジュールに基づき、新市場区分の選択申請に係る所定の手続きを進めてまいります。スタンダード市場への移行予定日は2023年10月20日となります。この日以降において、当社株式の取引はスタンダード市場に移行し、同市場で取引が継続されます。

(参考) プライム市場及びスタンダード市場の上場維持基準の適合状況

当社の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりです。2022年12月末時点において、プライム市場及びスタンダード市場の上場維持基準に全て適合しております。

	株主数 (人)	流通 株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)	月平均 売買高 (単位)	純資産の 額 (億円)
当社の状況 (2022年12月31日時点)	55,110	278,626	110	53.5	0.29	15,952	220
プライム市場 上場維持基準	800	20,000	100	35.0	0.20	—	正
上記の適合状況	○	○	○	○	○	—	○
スタンダード市場 上場維持基準	400	2,000	10	25.0	—	10	正
上記の適合状況	○	○	○	○	—	○	○

※東証に提出した株券等の分布状況表を基に当社が算定した数値となります。また、1日平均売買代金は、東証が算出した2022年1月から2022年12月までの平均値となります。月平均売買高は、東証の売買立会での売買高を2023年1月から2023年6月の月次平均にして当社が算出を行ったものです。

以 上